

## 小笠原隆元・河内賢隆両先生を送る

遠 山 博 雄

どちらの先生のお名前を先に立てればよいのかわかりませんので、あいうえお順にさせていただきます。

お二方ともご定年まで年数を余してこの三月に外国語部を去られ、残念至極、淋しいかぎりです。ご在職中は、先生方お一人お一人の持ち味を発揮され、母校の英語教育に献身されて、数多くの後進の指導にあたってられました。長い年月ご苦労さまでした。本当にありがとうございました。

とはいえ、名誉教授になられることはもちろん、小笠原先生は宗門関係のお仕事で、河内先生は非常勤講師として、わたしたちとのおつきあいを続けてくださいます。今後ともどうぞよろしく願いいたします。

名刹のご住職として仏様の道を歩まれる先生方には、どうかご健勝で未永くご活躍くださいますよう、心よりお祈り申し上げます。

## 小笠原先生、河内先生お二方を送る

前 田 脩

二人の重鎮が同時に辞められ、まことに淋しい次第です。数度にわたり、考え直されるよう、お願いしたのですが、お二人の意思はかたく、お引とめできませんでした。私のいたらぬところです。

小笠原先生はモームの研究者で、ときおり、皮肉ともユーモアともつかぬ鋭い言葉を発せられますが、もともと豪快なかたで、たいていのことはあの大らかなおなかに収めてしまわれます。そのせいか学生に人気があって、いつも学生がたずねてきましたが、そのいちいちに快く対応されていました。いつも多忙のご様子でしたが、それは国際的な仏教活動に参画されていたからです。たとえば、駒澤大学国際仏教研究所の理事をされたり、曹洞宗の海外開教課程の講師をされたりしています。このようなお忙しい身で、弟さんの急逝と要介護の御母堂（93歳）などの要因もありまして今回のような惜しまれる「退任やむなき」というご決断をなされたのではないかと拝察いたします。

河内先生は、シェークスピアを研究されています。シェークスピアの大家、三神勲先生の薫陶を受けられ、主にシェークスピア劇の中の言葉の遊び(パン)の研究をされています。

あの風貌からは、想像できないのですが、気持ちがあつて若々しいのです。私は河内先生と話していて時折はっとすることがあります。海外に行くことにも積極的ですし、イギリスでは、多くの友人を作ってこられました。翻訳活動も精力的で、他の人もそうだと思いますが、何度か翻訳の仕事に誘われました。そのたびに、力と精神力のなさゆえにおことわりしてきました。ありがたい機会をいただきながら申し訳ないことです。先生は、数多く翻訳されていますが、なんといっても、「第30回日本翻訳文化賞」を受賞された『ビルマ・タイ鉄道建設捕虜収容所』は、文字どおりの圧巻で、オーストラリア政府にもみとめられ、オーストラリア 日本研究プロジェクト名誉会員に指名されました。また同訳本はイギリスの戦争記念館に展示されています。現在、小笠原先生ともども宗門の仕事にお忙しい毎日をお過ごしのことと存じます。このような有能なお二人がそろってお辞めになるとは、惜しまれてなりません。